

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	日成工業株式会社	代表者	池田 郁乃	法人・事業所の特徴	小規模多機能の機能を活かし、住み慣れた地域で健康的、充実した生活を続けられる様に基本理念を忘れず利用者様、ご家族様に安心で満足と思える事業所を目指しております。より地域に根付く為、みなさまに愛され望まれる小規模多機能にしていきたい。
事業所名	小規模多機能ホーム あさがお	管理者	笠松 祐希		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	2人	人	人	1人	人	3人	人	6人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	自己評価より記載された各自の思いや考え方は把握できた為、不満足している知識、スキルを学ぶ機会を設ける。	自己評価より苦々な分野の聞き取りを行い、キャリアパス研修や管理者が講師を務め自社内で研修を約月1回実施。	受ける側、教える側で同じ方向を視ていけないとお互いに成長していかないと思えますのでより良い人材育成を目指してください。	昨年度では介助動作に関わる研修は見送りにした為、今年度は学びたい研修の聞き取りができていた為、優先的に介助の研修を実施していく。
B. 事業所のしつらえ・環境	利用者様に対して当事業所は自宅であることを再認識し、衛生面強化や有意義な時間を提供できる様に職員全体で模索していく。	普段見落とししている所の掃除を徹底的に見直し実施、職員や利用者様が手を触れる所は設定した時間で消毒を行う。	玄関等にも消毒の設置を行い、常に衛生面に気を配っているのが伺えていっていると思います。	利用者様が諦め続けていた外出を徐々に増やし生活動作を多く取り入れ、心身共に躍動できる様お手伝いしていく。
C. 事業所と地域のかかわり	コロナウイルスだけではなく感染症が蔓延状態での地域資源を探し活用できるように検討していく。	感染症予防の為、利用者様や職員、ご家族様にマスク着用と手洗いがい徹底させて頂く。面会制限を行い、ご家族様にご協力をお願いする。	地域や施設の考え方の違いがある。地域だと自分が優先と思うが施設側のことを考えると、確かにと思うことがあると思うので大変だと思う。	皆様のご協力を仰ぎ利用者様はもろろん地域の方々にも気軽に立ち寄って頂けるような場を創れるようにしていく。
D. 地域に向いて本人の暮らしを支える取組み	職員の入れかわりがある為、地域資源について考察・共有する。家族様の来訪が困難なため、ケアマネージャーの協力の元情報共有を実施。	面会制限の徹底によりご家族様との交流が減少した為、ケアマネージャーを通し情報の受け渡しを逐一実施する。	自宅に帰るのもご家族の協力が無いとできないことなので、できる対策はまだまだ必要だと思えますので、引き続き行って下さい。	コロナウイルスが軽減されてきた為、面会制限の解除に向けて感染対策の見直しを行っていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	町内会と事業所のイベント情報を照らし合わせ、お互いに参加できる時は協力出来る様に吟味していく。	コロナウイルスが終息することなく、互いにイベントが開催できずにいた。	コロナウイルスが徐々に軽減されてきているので、今年は時を見てイベントを開催していきたい。	同じく町内会と事業所でイベント情報を共有し、お互いに参加、協力が出来る様に吟味していく。

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>有事の際は優先順位が直ぐ分か つようにマチュアルの見直しや 改善の強化、必要物資の用意を怠 らないように努める。</p>	<p>有事の際の必要物資を徐々に増 やしていき、直ぐに使える様に準 備済み。釧路市消防本部にて震災 体験や自社での避難訓練の実施。</p>	<p>必要物品には常に気を配り備蓄 を怠らないようにしていく。 冬時では道路の消火栓を埋めて しまっていると連絡があり、直ぐ に対応できた。ハザードマップの 確認は怠らない様にしていま しよう。</p>	<p>当事業所としての防災、災害マニ ュアルを見直し強化していく。</p>
----------------------------	---	---	---	---